

各モデル共通，読み取り可能コード出荷時設定

読み取り可能コード	各モデル共通，出荷時設定
UPC-A/E	読み取り可能
EAN-8/13	読み取り可能
UPC/EAN Supplemental	読み取り不可
Interleaved 2 of 5	読み取り可能 (1 4 桁)
CODABAR (NW7)	読み取り可能
Code 39	読み取り可能
Code 128	読み取り不可

モデル別，読み取り可能コードの設定方法

モデル L0F では，読み取り可能コードの設定はバーコードラベルにて行います。各 OS から受け取ったコマンドは無視され，設定バーコードにより指定した内容が時価アイも有効となります。

モデル L0C では，読み取り可能コードの設定は，「OS からのコマンド」により設定されることをおすすめします。

また，各種 OS において読み取り可能コードを設定しておく必要があります。各種 OS の読み取りコードの設定方法は，各種 OS の関連資料を参照して下さい。

読み取り可能コード	4685-L0F	4685-L0C
UPC-A/E	常に読み取り可能	コマンドにて選択 (推奨)
EAN-8/13	常に読み取り可能	
UPC/EAN Supplemental	設定バーコードラベルで選択	
Interleaved 2 of 5	常に読み取り可能 (但し，長さの設定が必要)	
CODABAR (NW7)	常に読み取り可能	
Code 39	常に読み取り可能	
Code 128	設定バーコードラベルで選択	

4685-L0F/L0C UPC/EAN add-on code 読み取り 設定バーコードラベル

4685-L0F/L0C は UPC/EAN 2 or 5 digits add-on code を読み取ることが出来ます。それぞれのモデルの出荷時設定は下表の通りとなっています。

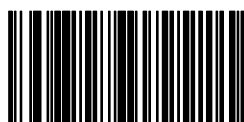
モデル	出荷時設定値
4685-L0F RS-485	UPC/EAN with add-on code を無視する
4685-L0F RS-232	
4685-L0C	

また、4685-L0F/L0C では以下の3種類モードを設定ラベルによって選択できます。

- UPC/EAN with add-on code を無視する
UPC/EAN に add-on code がある場合でも無い場合でも、add-on code を無視します。
- UPC/EAN with add-on code のみを読み取る
UPC/EAN に add-on code が無い場合には読み取りません。add-on code 付きの UPC/EAN のみを読み取ります。
- UPC/EAN with add-on code を自動判別する
UPC/EAN に add-on code の有り/無しを自動判別して、読み取ります。
このモードを選択した場合には、読ませ方を次の通りに行ってください。
「add-on code 部分を先に 4685-L0F/L0C の読み取り窓に通るように操作してください。」これは、add-on code data の欠落を防ぐためです。

ご使用の環境に適した設定を選択して下さい。

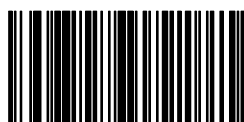
UPC/EAN with add-on code を無視する



UPC/EAN with add-on code のみを読み取る

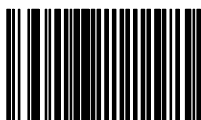


UPC/EAN with add-on code を自動判別する

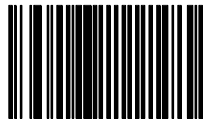


4685-LOF/LOC Code 128 読み取り 設定バーコードラベル

Code 128 の読み取りを行う



Code 128 の読み取りを行わない



----- End of document -----